

令和4年度（第24回）「瀬戸山賞」受賞者

- 1 更生保護に関する学術的研究、広報宣伝又は先駆的・開拓的な活動において特に優れた功績のあった個人または団体

受賞者（敬称略）	功績の概要
該当なし	

- 2 他の範とすべき顕著な功績のあった保護司組織・保護司・更生保護法人・同法人役員・更生保護女性会・同会員・BBS会・同会員・協力雇用主会・同会員

受賞者（敬称略）	功績の概要
盛岡地区更生保護女性会の会 （岩手県）	<p>約50年前の設立当初から更生保護の心を広める取組を続け、矯正施設の花壇整備やコンサートの開催、更生保護施設での料理教室開催、最近では地域の幼稚園児に絵本の読み聞かせ等の子育て支援活動を積極的に取り組んでいる。</p> <p>特質すべき活動としては、会員によるコーラスグループを結成し、活動の様々な場面でコーラスを通し更生保護の心あるメッセージを届け続け、地域社会の安全・安心に寄与していることが上げられる。平成27年にはその活動について市の推薦を受け国民文化祭に参加する機会を得、更生保護についてコーラスをきっかけに全国PRするまでになり、その活動実績は、県下の他の更生保護女性会の模範となっている。</p>
永井 駿一郎 （兵庫県）	<p>約30年余にわたり熱意と使命感を持って保護司として対象者の改善更生に努めるとともに、地区会・県保連等保護司組織の中核を担い、保護司会役員としてサポートセンターの開設にも大きく貢献された。</p> <p>平成12年からは、更生保護法人神戸学而園の事業運営にも尽力し、平成25年には同法人理事長に就任、折から同施設湊川寮が、神戸市の道路拡張工事のため別地移転をしなければならなくなった際には、代替地確保や建設資金の確保等長く困難な折衝等の先頭に立ち問題を解決、令和4年1月、湊川寮の移転・建設が無事完了し、収容定員を増やした新時代の新たな事業の再開を遂げている。</p>
横田 進太 （福岡県）	<p>30年余にわたり更生保護法人福岡弥生寮の理事長として現在まで、対象者の改善更生は勿論、更生保護施設の事業運営に多くの実績を残されている。</p> <p>特に、対象者の就労先の確保には強い思いを致し、平成22年には福岡県就労支援事業者機構の設立・発展に寄与。特に、林業と更生保護の橋渡しに大きな足跡を残した。</p> <p>令和3年からは、更生保護施設における訪問支援モデル事業にも取り組み始めるなど、その活動は県下にとどまらず九州地方、全国と更生保護事業の充実発展に貢献している。</p>